

あいさつ



第 59 回全国スポーツ少年大会
会 長 泉 正文
(日本スポーツ少年団本部長)

昨年来の新型コロナウイルス感染拡大により、今までにない、先を予想することが難しい日々が続いておりますが、このような状況の中、第 59 回全国スポーツ少年大会を開催することができますことを大変嬉しく思います。

本大会は、全国から集まった幅広い年代の団員たちが、様々な活動を通して仲間たちとの交流の輪を広げ、地域におけるスポーツ少年団活動の活発化を図ってほしいという願いのもと、1963(昭和 38)年に始まりました。以来、スポーツを愛する多くの関係者の方々に支えられ、長い歴史と伝統を誇る大会として実施しております。

今年の第 59 回全国スポーツ少年大会は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぎ、参加者の皆さん、運営スタッフなど大会に関わるすべての方々の安全を守るため、リモートにて開催する運びとなりました。

東京都での開催となる本大会では、「五つの「わ」〈輪・話・和・環・WA!〉」のテーマのもと、地域の文化を知る活動や、オリンピック・パラリンピック教育活動、障がい者スポーツへの理解を深める活動など、文化・スポーツ交流活動をはじめとする多彩なプログラムが用意されています。

参加される皆さんは、リモート形式ではあっても、相手を思いやり、声を掛け合うことを通じて、遠く離れた仲間と友情を育むことができると信じています。さらに、来るべく対面する際の喜びを、コロナ禍が収束した後の楽しみとして残すこともできると思います。本大会が皆さんにとって今後の人生の糧^{かて}となることを願っております。

結びに、本大会をご共催いただきました公益財団法人東京都体育協会東京都スポーツ少年団の関係者の皆さまをはじめ、ご支援、ご協力を賜りました全ての関係機関・団体の皆さまに対し、心からお礼を申し上げ、挨拶いたします。